



第138号

発行所
石川県羽咋市西釜屋町
石川県立羽咋工業高校
TEL (0767) 22-1193
編集兼発行
羽咋工高生徒会新聞部

第55回卒業式挙行

祝 卒業



「若竹の像」とともに 校長 穂垣 裕

本校正面に両腕を大きく伸ばして天空を仰ぎ力強く屹立している若竹の像。これは金沢市出身で当時の東京教育大学芸術科教授、日展作家であった木村桂二氏の作である。昭和三十九年十月に校舎落成記念として、PTAから寄贈された。木村氏は、建立式挨拶でこの像の発想を「早春の季に天を空をたつて母なる大地か空をたつて母なる大地か」としての自己を大きく伸ばし、そうとしている若竹の生命力の強さと素直さ、これは、学校とここに学ぶ生徒諸子



本校正面に両腕を大きく伸ばして天空を仰ぎ力強く屹立している若竹の像。これは金沢市出身で当時の東京教育大学芸術科教授、日展作家であった木村桂二氏の作である。昭和三十九年十月に校舎落成記念として、PTAから寄贈された。木村氏は、建立式挨拶でこの像の発想を「早春の季に天を空をたつて母なる大地か空をたつて母なる大地か」としての自己を大きく伸ばし、そうとしている若竹の生命力の強さと素直さ、これは、学校とここに学ぶ生徒諸子

羽咋工業に勤務してから一年が経とうとしている。終わってみたいけど、という間に感じるが、一年前は、今日まで過ごすことに期待よりも不安が大きかったことをよく覚えている。しかし、無事、今日まで過ごすことができたということは、周りの先生方や生徒がいたからこそなのだというのは、間違いない。

私は大学を卒業してから、羽咋工業の生徒が就職するような民間企業に一度就職している。先生とこの職業に興味はあったものの、大学を卒業してから今すぐ就職に立ちたいという強い思いはなく、最初に内定をもらった企業に就職した。そこでは営業職として多くのお客さんとの打ち合わせや金銭的な取引、また、現場監督として施工管理も行って来た。仕事をしていく上では様々なトラブルがあ

り、強面のお客さん相手だと当時はびびりまくっていたが、それも今は自分の成長に繋がるともいい経験だったと思っている。仕事を覚えてきて、やりがいを感じる日々を過ごしていたある日、大学の同期で先生をしている友達にふと連絡を取ってみた。先生どうやうかと聞くとも、めっちゃ楽しい！と返ってきた。よし、俺も先生目指そうと思っ

た。昔から先生という職業に興味があったこと、高校生のときの恩師から先生を目指さないかと言われていたことも先生を目指す動機であったが、今思えばその友達に連絡を取ったことが自分の人生の転換期であったなと思っている。先生になろうと思った方がいいが、自分には先生をする知識やスキル

あり、それを一番実感できるのは学校ではないかと考えた。人間の成長に携われるなんて、なんて素敵な仕事なんだ！と思いついてからは、早く学校で働きたいという思いが強くなり、転職を決めた。また、私はこれまでの人生でいくつかの後悔をしてきた。一番の

後悔は大好きである野球をもっと一生懸命に取り組めばよかったという後悔だ。当時は野球に対して一生懸命取り組んでるつもりであつたが、今振り返るともっとも出てくることはあつたのではないかと考える。あと一本でも多くバットを振ってあげれば、あと一回でも多くスクワットをしてあげれば、

何故あそこで諦めてしまったのか、もっと仲間と真剣に向き合えていれば、

最後に、私の好きな言葉を二つ紹介したい。「世の中なんとなかなんとかしようと思えば、行動しないで後悔するよりも、行動して後悔しろ。」この二つの言葉が今の自分を形成していると言つても過言ではない。捉え方は人それぞれだが、何かの参考になれば幸いです。

生に求める力を尋ねると、「専門的な知識や技能は入社してからでも鍛えることは出来るので、基礎基本をしっかりと身に付けさせて送り出して欲しい。」とも言われ、ここは任せてくださいと胸を張り、三年生は、本校で、十分に基礎基本を学び、身に付けたと思う。人は、環境が変化するときには、疑問を持ち、考え抜く力である。そしてチームワークとは、多様な人々とともに、目標に向けて協力する力である。

三年生に、「このような力がありますか。」と質問をされると、自信をもってあると答えられるだろうか。地域産業の担い手育成を使命とする本校では、ホームルームや学校行事、部活動等においてこの社会人基礎力の育成を図ってきたところで、

あるが、三年生が自信を持っていかれるかは、校長としても心配な部分がある。一、公開発表テーマ(発表順)の採用担当、二、電子機械科・電気科専門高校生等における産学

生に求める力を尋ねると、「専門的な知識や技能は入社してからでも鍛えることは出来るので、基礎基本をしっかりと身に付けさせて送り出して欲しい。」とも言われ、ここは任せてくださいと胸を張り、三年生は、本校で、十分に基礎基本を学び、身に付けたと思う。人は、環境が変化するときには、疑問を持ち、考え抜く力である。そしてチームワークとは、多様な人々とともに、目標に向けて協力する力である。

の反省を活かして、新しい自分に変わるのである。個人的な話だが、私は小学校一年と四年に、二度の転校、そして卒業時に引越して、従って中学校入学時には小学校からの友人はいなかった。それでも、少しずつ友人ができたし、人間関係もできた。年齢が低いながらも、転校時には、より良い自分になろうと周りに話しかけ、しっかりとコミュニケーションをとろうとしていたように思う。

四月から、より積極的に行動し、仕事や勉強がうまく進まないと感じたときや失敗したときは、粘り強くどこを改善すべきかを考え、仲間や先輩、上司に相談して解決を図って欲しい。そして、若竹の像、その発想を思い出し、卒業生として、何年かして、母校に成長した姿を見せて欲しい。在校生は、もうしばらくで進級する。社会人基礎力の中で、自分に不足しているものは何かを考え、新年度の準備を整えて四月を迎えたい。新年度、新入生を含めて新たなチーム羽工で若竹の像とともに頑張っていきたい。

進まないと感じたときや失敗したときは、粘り強くどこを改善すべきかを考え、仲間や先輩、上司に相談して解決を図って欲しい。そして、若竹の像、その発想を思い出し、卒業生として、何年かして、母校に成長した姿を見せて欲しい。在校生は、もうしばらくで進級する。社会人基礎力の中で、自分に不足しているものは何かを考え、新年度の準備を整えて四月を迎えたい。新年度、新入生を含めて新たなチーム羽工で若竹の像とともに頑張っていきたい。

この反省を活かして、新しい自分に変わるのである。個人的な話だが、私は小学校一年と四年に、二度の転校、そして卒業時に引越して、従って中学校入学時には小学校からの友人はいなかった。それでも、少しずつ友人ができたし、人間関係もできた。年齢が低いながらも、転校時には、より良い自分になろうと周りに話しかけ、しっかりとコミュニケーションをとろうとしていたように思う。

四月から、より積極的に行動し、仕事や勉強がうまく進まないと感じたときや失敗したときは、粘り強くどこを改善すべきかを考え、仲間や先輩、上司に相談して解決を図って欲しい。そして、若竹の像、その発想を思い出し、卒業生として、何年かして、母校に成長した姿を見せて欲しい。在校生は、もうしばらくで進級する。社会人基礎力の中で、自分に不足しているものは何かを考え、新年度の準備を整えて四月を迎えたい。新年度、新入生を含めて新たなチーム羽工で若竹の像とともに頑張っていきたい。

この反省を活かして、新しい自分に変わるのである。個人的な話だが、私は小学校一年と四年に、二度の転校、そして卒業時に引越して、従って中学校入学時には小学校からの友人はいなかった。それでも、少しずつ友人ができたし、人間関係もできた。年齢が低いながらも、転校時には、より良い自分になろうと周りに話しかけ、しっかりとコミュニケーションをとろうとしていたように思う。

四月から、より積極的に行動し、仕事や勉強がうまく進まないと感じたときや失敗したときは、粘り強くどこを改善すべきかを考え、仲間や先輩、上司に相談して解決を図って欲しい。そして、若竹の像、その発想を思い出し、卒業生として、何年かして、母校に成長した姿を見せて欲しい。在校生は、もうしばらくで進級する。社会人基礎力の中で、自分に不足しているものは何かを考え、新年度の準備を整えて四月を迎えたい。新年度、新入生を含めて新たなチーム羽工で若竹の像とともに頑張っていきたい。

2018 課題研究公开发表会

平成三十一年一月二十六日(土)にコスモアイル羽咋会場に、課題研究公开发表会がおこなわれました。発表会には、企業の方々や、中学生、保護者など多数の来場者がありました。三年生は、学習の成果を英語での概要を含め発表しました。また展示会場にも多くの来場者があり、すばらしい発表会になりました。

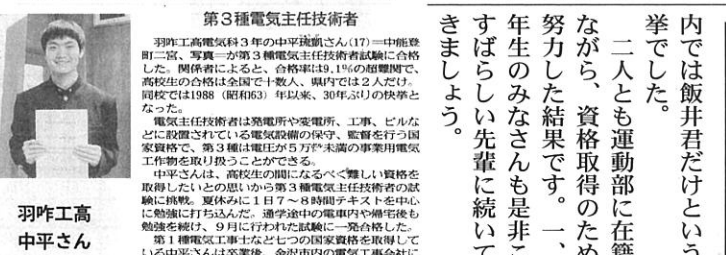
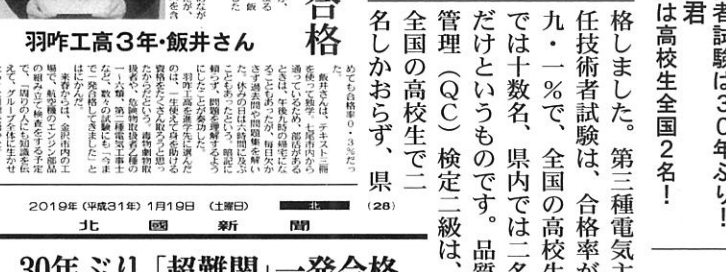
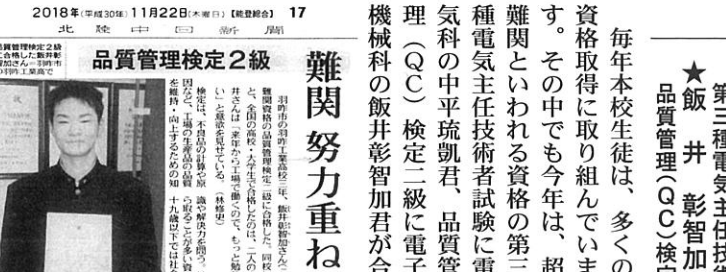
連携人材育成事業「小水力発電の研究とその製作と改良」

一 電子機械科・電気科
二 建設造形科デザインコンコース
三 石膏・陶芸
四 電子機械科
五 電気工手法の研究

★中平 琉 凱君
★第三種電気主任技術者試験は30年ぶり！
品質管理(QC)検定は高校生全国2名！

★飯井 彰智加君
品質管理(QC)検定は高校生全国2名！

難関努力重ね合格
全国の高校生で二名しかおらず、県



毎年本校生徒は、多くの資格取得に取り組み、第三種電気主任技術者試験は、合格率が九・一％で、全国の高校生で十数名、県内では二名だけというものです。品質管理(QC)検定二級は、機械科の飯井彰智加君が合格し、全国的に二名しかおらず、県

30年ぶり「超難関」一発合格
第三種電気主任技術者試験は30年ぶり！

二人とも運動部に在籍しながら、資格取得のために努力した結果です。一、二年生のみならず是非このすばらしい先輩に続いていきますように。

品質管理検定2級
羽咋工高3年・飯井さん

30年ぶり「超難関」一発合格
羽咋工高 中平さん

品質管理検定2級
羽咋工高 飯井さん

品質管理検定2級
羽咋工高 飯井さん

30年ぶり「超難関」一発合格
羽咋工高 中平さん

品質管理検定2級
羽咋工高 飯井さん